

○紀の川柿の生産拡大により、耕作放棄地の発生を抑制

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	和歌山県伊都郡かつらぎ町星山 <small>いとぐんかつらぎちようほしやま</small>			
協定面積 20 ha	田	畑 (100%) 柿、みかん	草地	採草放牧地
交付金額 235万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	多面的機能を増進する活動 (堆きゆう肥費用)		35%
		水路・農道管理、鳥獣害対策費用		13%
		活動事務費	2%	
協定参加者	農業者 11人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

本集落では、昭和37年～39年に国の補助事業により集落全体でみかん栽培に取り組んだものの、昭和40年頃を境にみかんの価格が下落したことから、昭和55年～昭和60年に柿栽培に転換を図った。

しかし、高齢化の進行、後継者不足から、耕作の継続が困難となることが予想されるため、平成12年度に集落協定を締結し、集落として安定した農業生産活動を行っていきよう、高付加価値農業への取組や耕作放棄地対策を推進していくこととした。

3. 取組の内容

第2期対策では、自然生態系の保全に関する学校教育等との連携活動に取り組み、小学生のミカン狩り体験や保育園児のキウイ狩り体験を行うとともに、集落としての継続的な農業生産体制の構築に向け、認定農業者を1名育成した。

第3期対策では、積極的な農業生産活動を推進していくことを目的に、高付加価値農業に取り組んでおり、平核無柿を木に成ったまま脱渋する紀の川柿の生産拡大を図っている。

紀の川柿は一つ一つ袋をかぶせるため手間がかかるが、通常の平核無柿より食感が良く、甘みが強いうえ日持ちがする。市場での需要は高いことから、集落にとっても大変やりがいのある取組として期待している。

また、認定農業者を更に1名育成し、引き続き集落内の農業生産体制を強化していくこととしている。



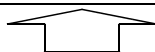
食感が良く、甘い紀の川柿（樹上脱渋）



小学生のミカン狩り体験

【集落の将来像】

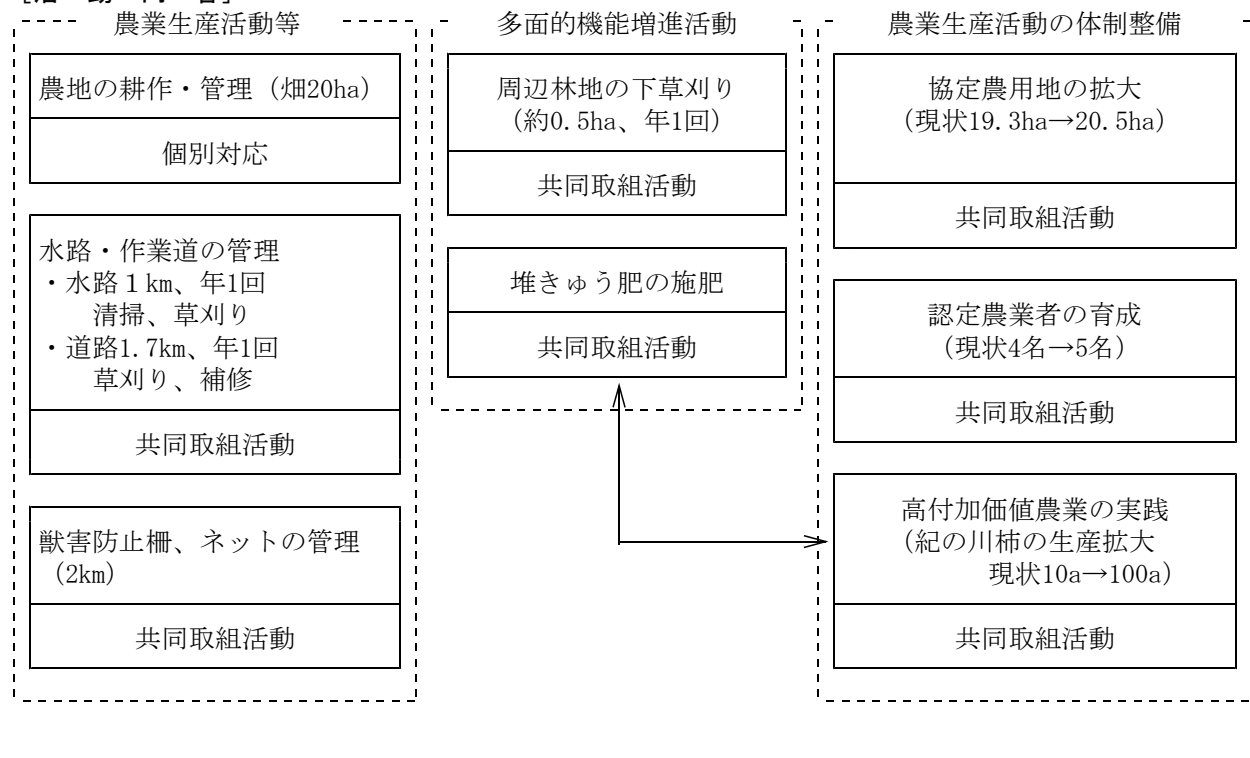
- 耕作放棄地の解消が行われるとともに、耕作放棄地を発生させないような安定的な農業生産活動体制を構築するため、認定農業者の育成や高付加価値型農業の推進を図る。



【将来像を実現するための活動目標】

- 認定農業者を1名育成する。
- 高付加価値のある「紀の川柿」の生産拡大を図る。

【活動内容】



4. 今後の課題等

高齢化が進行していく集落で、集落が一丸となって将来を切り開いていくためには、耕作放棄地の発生防止はもちろんのこと、既に耕作放棄地化した農地の解消を行っていく必要があると考えており、集落内での話し合いを重ねていきたい。

そのためにも、安定的な農業経営に向け、高付加価値のある紀の川柿の生産拡大を図っていくこととしているが、5年後、10年後においても活動の継続がなされるためには、後継者の育成が望まれる。

【第2期対策の主な成果】

- 認定農業者の育成 (現状2名、目標3名、H21実績4名)
- 学校教育等との連携活動 (小学生のミカン狩り、保育園児のキウイ狩り)